

令和7年度 建設委員会行政視察報告書

建設委員会
委員長 藤田 克樹

- 1 視察期間 令和7年10月20日（月）
- 2 視察先及び視察事項
常西用水取水口及び流杉浄水場
「安全でおいしい水道水がつくられる過程について」
- 3 視察参加委員

委員長	藤田	克樹
副委員長	高原	ゆずる
委 員	細川	博徳
//	福田	敏彦
//	金井	毅俊
//	江西	照康
//	高田	真里
//	東	篤
//	横野	昭

- 4 随行職員

議事調査課長代理	酒井	優
議事調査課主任	杉林	睦美

5 視察概要

(1) 視察事項

- ・安全でおいしい水道水がつくられる過程について

(2) 視察の目的

本市の水道事業は昭和10年10月に一部地域で通水が開始されてから、令和7年で90周年を迎える。平成17年4月の市町村合併の結果、1つの経営体の下で給水区域が拡大されたことにより、水道事業の広域化が実現し、市民へ安価で良質な水道水を提供する体制が整った。しかし近年、人口減少による収益の減少、施設の老朽化や頻発する自然災害への対応、技術職員の不足など様々な課題が生じており、将来にわたり持続可能な事業運営を行うため、富山市上下水道事業経営審議会からの答申等を経て、令和8年4月1日から上下水道料金の改定を行うこととなった。

水道事業の在り方について見直す時期にあることから、常西用水取水口及び流杉浄水場において、富山市の水道水がつくられる過程を改めて視察することにより、今後の委員会活動の参考にするもの。

(3) 取組の概要

流杉浄水場の水源には有峰・祐延系、称名川・真川・有峰系、横江系（常願寺川本川）の3系統があり、常西用水取水口である上滝沈砂池で合流した後、常西合口用水から流杉浄水場へ流入している。全体水量の約6割を担っている有峰・祐延系は、北陸電力株式会社の水力発電に使用されている有峰ダムと祐延ダムを水源としているが、川の水よりも天候等の影響を受けにくく、濁りが少ないことが特徴である。

流杉浄水場の上水道処理施設は、平成21年に供用を開始した新設浄水場と、昭和40年及び昭和50年に供用を開始した既設浄水場から成り、1日当たり149,891立方メートルの処理能力を有する。供給区域は旧富山市地域であり、富山市全体配水量の約73.8%を占め、令和6年度の1日当たりの平均配水量は96,742立方メートルであった。また、工業用水道処理施設は1日当たり61立方メートルの処理能力を有し、令和6年度の1日当たりの平均配水量は46,891立方メートルであった。

流杉浄水場は平成21年度以降、浄水場運転管理業務委託により管理されており、現在、令和6年度から令和8年度までの3年間の契約期間においてクボタ環境エンジニアリング株式会社が業務を担っており、施設の運転監視、保守点検、水質監視、本館清掃、エレベーター点検等の業務を行っている。

水道水ができる仕組みとしては、原水調整池（沈砂池）で原水中の大きな砂や土の粒を自重で沈め除去し、薬品沈殿池で原水調整池では沈まなかった細かな砂や土を沈めるための凝集剤を入れてフロックを形成させ、大きくなったフロックを沈めて除去する。その後、薬品沈殿池でも沈まなかった細かなフロックを急速ろ過池の砂やアンスラサイトの層でこしてきれいにし、消毒剤を入れて殺菌する。最終的にきれいになった水は配水池に貯められ、市内水道管を通り各家庭へ送られる。

また、流杉浄水場には災害に備え、地震時に閉作動し、配水池内の水を確保するため

の緊急遮断弁や、停電に対処するための予備受電引込柱、非常用発電機が設置されているほか、浸水対策として防水板の設置、点検口や通気口のかさ上げもされている。

さらに、流杉浄水場へ流れる水の力を利用する小水力発電と、急速ろ過池の蓋に設置したソーラーパネルを使用した太陽光発電による電力を流杉浄水場内で使用しており、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいる。

（４）所感

〔藤田委員長〕

非常に清浄で良質な水が取水口で確実に確保され、流杉浄水場で多段の工程を経て飲むことができる水へと磨かれていく過程を視察し、市民の当たり前の安心が高度な設備と職員の不断の努力に支えられていることを改めて実感した。

老朽化した施設の更新や災害対応の強化が避けられない中、水道料金の見直しが行われるが、その背景には安全で安定した水の供給を次世代へ引き継ぐために必要な投資がある。今回の視察を通じ、将来に責任ある選択として丁寧に説明していくことの重要性を痛感した。

〔高原副委員長〕

富山市全体配水量の約７４％の水源である水源地と流杉浄水場を視察したが、十分な酸素と程よいミネラルを含んでいる降雨や雪解け水であることが、おいしい水道水の元になる。

水源から水を取り込み、薬品などを使って砂や土を取り除き、砂の層に水を通してさらにきれいにした後、消毒、殺菌するとともに、職員が厳格な水質検査を行っていることから、安全対策も十分であり安心できた。

この施設は見学もできるように工夫されていることから、安心して安全な富山市のおいしい水を市民の皆様にもっと理解していただき、実感してもらえるように広報活動に期待したい。

〔細川委員〕

富山市全体配水量の約７３．８％を配水し、旧富山地域への水道水供給施設として、安全でおいしい水を安定的に届ける重要な役割を担っている。

有峰ダム及び常願寺川の表流水を水源とし、比較的きれいな水を高度かつ経済的な浄水処理により安全で安心な水にし、２４時間体制で水質を監視している。

また、災害時の備えとして、配水池内の水を確保する緊急遮断弁や非常用発電機の設置、浸水対策も講じていて、応急給水体制と緊急時の安全な水を確実に供給できるよう万全を期している。また、環境負荷の低減のため、小水力発電や太陽光発電を活用している。

〔福田委員〕

議員になる前、ある相撲部屋に富山の水を差し入れしたことがあった。多くの力士から、富山の水はまるやかでおいしい、体にしみ込むようだ大変好評を得た。

日々厳しい稽古で汗を流す力士たちは、体づくりの基本である水の質には敏感であり、口をそろえて富山の水を称賛したことは、豊かな自然と徹底した水質管理が生み出したその価値を証明した。

今回視察した両施設は、富山の水の安全性とおいしさを追求し、また、災害に備えた措置も講じられた地域の暮らしを支える要であり、今後も持続可能な水の循環を守る取組が求められるものと感じた。

〔金井委員〕

今回の視察で事前に興味を持っていたのは、上滝沈砂池で3つの水源を集めて常西用水に流す場所であった。溪流釣りを趣味としている私にとっては、ため池から余った水を川に放流する付近は絶好の釣り場であることから、特に興味が沸いていた。

清流にすむ魚や立山連峰の雪解け水を飲みに来る動物と同じように、流杉浄水場で消毒された安全な水が市民に供給されていることが確認でき安心した。

〔江西委員〕

水道管は基本的に地下に埋設されているため、その全容を知ることはできないが、流杉浄水場及び常西用水取水口の視察は目視可能であることから、委員会視察として見学した。

流杉浄水場は近代的で厳格な管理が行われていると感じるものの、それ以前に経由する上滝沈砂池や、管理者が別に存在する常西用水関連施設に果たして問題はないものか、少し気になるところである。

流杉浄水場はもっと大規模な施設を想像していたが、思いのほかコンパクトであり、対応が迫られた場合でも機動的に運用できるのではないかと感じた。

〔高田委員〕

上滝沈砂池は、有峰ダムから小俣発電所経由、真川から上滝発電所経由、横江堰堤・岩峠分水槽経由の3系統の水源が合流しており、水力発電の残水も利用している。流杉浄水場では、上滝沈砂池、常西合口用水からの水を安全・安心な水道水として各家庭へ届けている。その仕組みは徐々に低くなる地形を利用しており、災害への備えや、小水力発電、太陽光発電など再生可能エネルギーの積極的な活用など、節約にも考慮されていた。

富山の安全でおいしい水ができる工程を再確認し、富山が誇る水への感謝を市民にもさらに周知していくべきと感じた。

〔東委員〕

常西用水取水口で取り入れられた3系統から成る常願寺川水系の水は、流杉浄水場へと運ばれており、今年の猛暑でも水量があまり低下しなかったとのことである。雄大な立山連峰が市民の暮らしに欠かせない水を与えてくれることに感謝しなければならない。

富山市全体配水量の約73.8%を配水している流杉浄水場では、原水調整池、薬品

沈殿池、急速ろ過池を通過して上水道となる。シンプルでコストがかからないシステムでありながら、その水道水を詰めたペットボトル「とやまの水」はモンドセレクション金賞を何度も受賞しており、ありがたい限りである。

巨大なインフラと上下水道料金の関係について、もっと関心を持たなければならない。

〔横野委員〕

初めて常西用水取水口を現地視察し、原水の取り方や現地の状況を見て感心した。原水の濁度も監視しながら取水するなど管理体制も充実しており、きれいな原水を取り入れられることに感謝する。

流杉浄水場においては、太陽光発電、小水力発電を併用しながら管理している状況や地震時の対応状況など、しっかりと管理していることについて説明を聞き、モンドセレクションの評価も得ているおいしい水として市民にアピールしていきたいと思った。

令和7年10月20日（月）常西用水取水口及び流杉浄水場

